

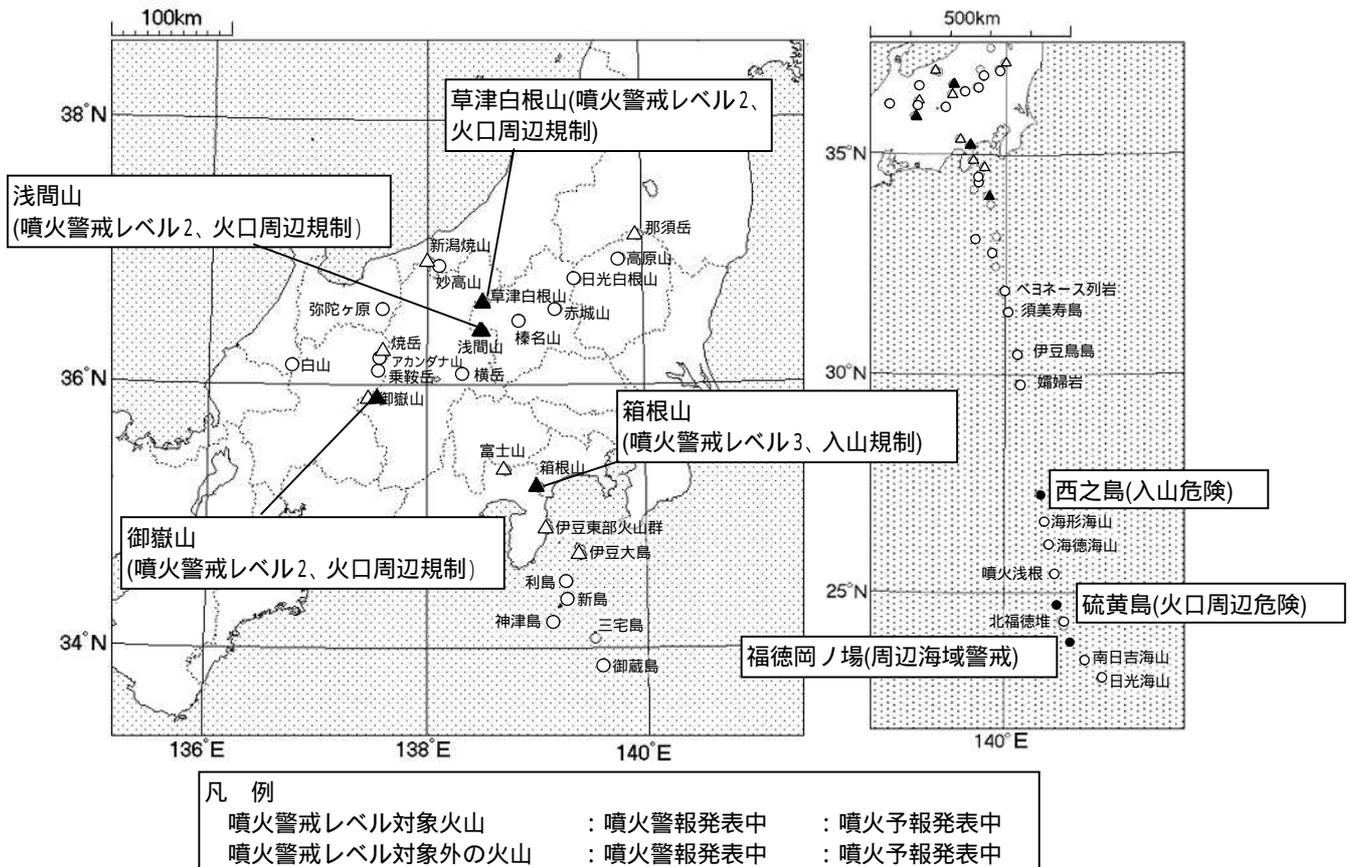
## 管内月間火山概況（平成 27 年 6 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

## 噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	箱根山
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山、御嶽山、浅間山
	入山危険	西之島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、新潟焼山、焼岳、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島
	活火山であることに留意	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



\* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ( <http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html> )でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成27年7月分)は平成27年8月10日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

箱根山では、6月30日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

浅間山では、6月11日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

御嶽山では、6月26日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

三宅島では、6月5日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制） ]

2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加しています。2014年8月20日以降はやや少ない状態で経過していますが、2015年1月以降一時的な地震の増加がみられます。

地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められていましたが、2015年4月頃より鈍化しています。

また、全磁力観測による2014年5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

浅間山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制） ] 6月11日に噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ

4月下旬頃から山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震が多い状態が続いています。また、二酸化硫黄の放出が11日から急増しました。これらのことから、浅間山では火山活動が高まっていると考えられ、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があることから、6月11日15時30分に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。

6月16日及び19日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。

19日の噴火以降、噴火は発生していませんが、火山ガスの放出が多い状態が続いているなど、火山活動は引き続き高まった状態で経過しています。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

新潟焼山 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しました。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

焼岳 [ 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

乗鞍岳 [ 噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] 6月26日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げ

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014年）10月以降噴火が発生していないことから、昨年9月27日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。

これらのことから、6月26日17時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。

しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が突発的に発生する可能性があります。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

白山 [ 噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

2011年3月15日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード6.4の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

箱根山 [ 火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] 6月30日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ

箱根山では、29日07時32分から約5分間の火山性微動が発生し、同日12時45分頃には大涌谷の北約700mの上湯場付近で降下物を確認しました。その後の調査で大涌谷において新たな噴気孔が確認されました。30日に実施した現地調査では、29日に確認した噴気孔周辺で火山灰等の堆積による盛り上がり確認され、ロープウェイ大涌谷駅付近で降灰を確認しました。

これらのことから大涌谷で29日夜から30日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、30日12時30分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表しました。

箱根山の大涌谷周辺の概ね1kmの範囲まで影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大涌谷周辺の概ね1kmの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

伊豆東部火山群 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が続いています。2011年頃から鈍化していましたが、2013年8月頃から再び膨張傾向がみられます。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められませんが、山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

新島 [ 噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島 [ 噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島 [ 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] 6月5日に噴火警戒レベルを2（火口周

辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げ

噴火は 2013 年 1 月 22 日以降発生していません。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過しています。また、山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していることから、三宅島では噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられます。

これらのことから、6 月 5 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。

しかし、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。また、火山ガスの放出は継続していることから、引き続き火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があると思われ、予想される地域では警戒してください。

八丈島 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島 [ 噴火予報（活火山であることに留意） ]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島 [ 火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報 ]

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ<sup>2)</sup>等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

硫黄島 [ 火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報 ]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS<sup>1)</sup>連続観測によると、地殻変動は 2014 年 12 月上旬頃から隆起の傾向がみられ、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっています。その他の観測データに特段の異常は認められません。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場 [ 噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報 ]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

2) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象で、人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険です。